

★ 教育委員会による教採説明会から

去る12月7日の3年生対象の授業「教育実習事前指導」で東京都、埼玉県、神奈川県教育委員会を招いた教員採用選考説明会を実施しました。昨年と大きく違っていたのは、3自治体とも**教員の働き方改革**を進めていると強調していたことです。教員研修制度が充実しているとアピールしていた昨年と比べて、今まさに教育業界最大の関心事は働き方改革なのだと感じました。全国の小中高の先生方のほとんどがボランティア残業で過労死レベルになっていることを考えると、確かに解決すべき緊急の課題だと思います。教員の働き方改革は今年の千葉県・千葉市教採の集団討論のテーマに出ましたが、このテーマの解決策を教員に求めるのは酷ではないでしょうか。なぜなら、教員は解決できる立場ではないからです。その立場にあるのは教育委員会と校長です。私は、教育委員会が通知文を減らし、校長が教員の思いや願いをしっかりと受け止めて学校経営を行うことが唯一の解決策であると考えます。とはいえ、学校の働き方改革は重要な教育時事なので、対策をしておいた方がいいでしょう。

★ 合格体験談発表会から

12月14日に、今年教採に合格した先輩10人を招いて合格体験談発表会を行いました。現役合格した人、何度失敗してもあきらめずに頑張って栄冠を勝ち取った人、既に非常勤講師として教壇に立ちながら再受験した人、企業に就職して働きながら再受験した人など、どの先輩の話も苦勞と努力と合格した喜びであふれていました。そして、後輩への激励で結んでいました。どの話にも共通していたのは、4年生のときには**周囲の仲間がどんどん企業等に内定していく中、自分だけ就職先が決まっていないう不安との闘いが大変だった**ということです。確かに7月中旬の1次試験に始まり、8月に2次試験、10月が最終合格発表で、赴任先の学校が決まるのは3月ですから、確かに不安になるのは分かります。受験生の気持ちを考えていない制度だなどつくづく感じます。しかし、残念ながらそれが現実なのです。日本中の教員志望者が、同じ不安を抱えながら頑張っているのです。まずは10月の最終合格まで頑張りましょう！10月以降は、自分を待っている生徒の顔を思い浮かべながらひたすら待つしかありません。

★ 教員志望の諸君・教員が内定している諸君・既に教員になっている諸君へ

これからの教員に求められているのは、「**人生という道走る生徒の伴走者**」でいることだと思います。生徒は、人生を走るランナーです。教員は生徒と一緒に走りながらアドバイスをを行い、時には生徒と一緒に悩み、考え、支援する伴走者です。そのためには、生徒に対する愛情が不可欠です。マラソンの小出監督の「**指導には優しさ愛情が大切。自分の子どもだと思って育てないとダメなんだよ!**」という言葉は、まさに指導者の在り方を表していると思います。そして最終的には、**生徒が一人で走れるようにすることが目標**となります。したがって、何でもかんでも教員が教え込んでしまっはいけません。教えることは必要最小限にし、**生徒自身で考え、試行錯誤の中から気づき、発見する体験をさせることが重要**です。もちろん、主役は生徒です。生徒の納得なしに成果は得られません。

また昨今、政治家の不正や殺人事件、自国のことしか考えない元首など、残念なニュースがあふれています。これらは個人の性格や資質もあると思いますが、やはり教育の力が大きいです。私は、皆さんには「**できる子よりも優しい子を育ててほしい**」と思います。「私利私欲や保身に走らず、他への愛情にあふれた人間」を育ててほしいです。最近、いわゆる偏差値の高い大学を出ているのに悪さをしている人が目立ちます。「**教育の第一目標は人格の完成、つまり人間教育にある**」ことを改めて確認することが必要でしょう。

《イベント予定》2月19日(水): アナウンサーによる面接講習(於: 西館1階 遠隔視聴覚室)

2月21日(金)~4月1日(水): 個人面接練習・集団討論練習・教育実習向け模擬授業

★以上は、**現在参加者募集中**です。学年不問です。参加希望者は、教職課程センター又はメールで申し込んでください。**申込×切: 1月19日(日)**

【お知らせ】

今後、「**合格論文書き方講習**」「**学習指導要領講習**」「**教育法規講習**」は、実施しません。その代わり、**それらの講習動画を入れたDVDを随時貸し出しています**。学年不問です。これらを有効に活用してください。



「教員はフラックって言うけど、他の仕事はホワイトなのではないですか？」他

【年賀所感】by TAGAMI

(1) 教員はフラックって言うけど、他の仕事はホワイトなのではないですか？

せっかく教員になることを考えたのに、「教員はフラックだからと他の職種に就職する」というのは如何なものでしょうか。本当に他の仕事は、ホワイトなのではないですか？私と同じ理学部数学科卒業の同期に、SE(システムエンジニア)になった人が、たくさんいます。彼らはいろいろな企業から依頼され、各種システムやプログラムを開発しています。彼らが異口同音に言うのは、「1年近くかけてシステムを作るけど、納期が近付くとコンピュータールームに寝袋を持ち込んで徹夜作業が続く」ということです。それは、納期に1日でも遅れるとシステムの代金が1/3以下に値引きされてしまうからだそうです。つまり、大損になるわけです。また、司法試験に合格した同期からは、「公判に間に合うように山ほどある過去の判例を読むのに徹夜が続くのは当たり前」だそうです。さらに、コンビニ本社に勤務している仲間は、「自分の担当する店舗が多くて、店舗数1のためにほとんど家こいない」とのことです。そして、保険の営業マンは、お客さんの都合で動くため、自分の時間が全くないそうです。私は教員以外の仕事に就いたことがないし、これらの証言も全体を代表しているわけではないので断定的なことは言えませんが、世の中の仕事は、残念ながらほとんどがフラックなのではないでしょうか。もし教育実習に行って「教員になってみたい！」と感じたのなら、教員になったらどうですか。自分のやりたい仕事ならきっと頑張れるでしょう。フラックだという理由で他の仕事に就いても、その仕事がホワイトかどうか分かりませんよ。私は、縁あって教員免許を取ろうと思った皆さんには、初心を貫徹し、是非教員になってほしいです。

(2) 教員の働き方改革について

とはいえ、教員の仕事がフラックなのは確かです。先日TVを見ていたら、今年の教員志望者が前年よりも減っているというニュースがありました。理由は、「教員はフラックだと学生が感じているから」だそうです。確かに公立学校教員の場合は給付法によって給与月額に4%を上乗せされているため、超過勤務手当が1円も出ません。本来、この法律は教員を守るためにつくられたものですが、その後教員の仕事が急増したために今では完全に赤字になっています。過労死レベルまで残業をしている教員の超過勤務分は、残念ながら全てただ働きです。だから、教員の働き方改革は、日本中の小中高の先生方を救うための緊急課題です！現在、教育委員会が教員の勤務時間を調査しています。調査自体は無駄ではありませんが、勤務時間を減らすことを目的とすると働き方改革が間違った方向に行ってしまうのではないかと思います。勤務時間の短縮は結果であって、大切なことは教員の仕事を減らすことです！既に、「早く帰れ！」という間違った指示が学校に出ています。早く帰るように仕事を減らすことが極めて重要なのです。仕事を減らさずに退加時刻を早めれば、家での仕事が増えるだけです。それでは全く意味がありません。教員の働き方改革の目的は、「教員の仕事を減らし、生徒との関わり」という教員本来の仕事に集中できるようにすることです！TVドラマの言葉を借りれば、早く「教員免許が不要な仕事は、いたしません！」と言える状態に近づけることです。その実現のためには、「校務分掌から教員を解放することです！」昔から、当たり前のように校務分掌は教員の仕事と言われてきました。校務分掌の中には担任のように教員免許が必要な仕事もありますが、必要ないものがほとんどです。例えば、授業や定期考査の時間割作成、奨学金の申込手続、高校入試の実施要項作成・試験監督、各種行事の企画・実施、生徒会会計業務、授業料や学年積立金・給食費未納者への対応、調査書の作成、教育委員会からの膨大な調査への回答 etc これらを行うのに教員免許は必要ありません。実際、大学ではこれらの仕事は、学務課等事務系の職員の方々が担当しています。つまり、教員の働き方改革を実現させるためには教員を増やすのではなく、事務系職員を増やして教員を校務分掌から解放し、教員が授業や補習、部活動など生徒と関わることにもっと時間を充てられるようにすることが極めて重要と考えます。私は、校長を定年退職した今でも数学研究会に毎回参加し、現職の先生方の声を聞いています。どの先生も、校務分掌の仕事や会議で忙しくて、授業の準備や生徒との面談・相談などの時間が十分に取れないと話しています。また、授業準備に時間をかけるのはそれほど苦にならないとも言っています。それは、そうでしょう。そもそも生徒に数学や理科を教えたくて教員になったのですから。私は、校長をしていた10年間ずっとこのことに努力してきましたが、残念ながら実現までには至りませんでした。しかし、その甲斐あってか、今やっと教員の働き方改革が全国的に動き出しました。5年後にはだいぶ様子が変わっていることでしょう。大いに期待しています。ただ、間違っても勤務時間が短くなればよいということに終始してはなりません！仕事を減らすのです！

(3) 新年の抱負

教員の働き方改革が実現し、教員も生徒も保護者も「ほっとする学校」になることを期待しています。私が教員社会へ送り出す学生の皆さんは、その立役者です。私は、そのために必要な資質・能力を皆さんに指導していきたいと思っています。

★教職課程センター小金井相談室は、全力で皆さんの合格を応援します。頑張ってください！